

2015 年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2015 年 12 月 25 日 環境管理責任者 白井 佳子

	目 標	結 果	実 施 状 況	評 価	原 因	改 善 策
地球温暖化防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量 2014 年実績を 1%減 エアコン 5,865kWh 電灯 9,270kWh 合計 15,135kWh ・ガソリン使用量 2014 年実績を維持 741L ・二酸化炭素排出量 2014 年実績を 1%減 9,550.0kg-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量実績 2014 年比 1.8%減 エアコン 5,376kWh 電灯 9,716kWh 合計 15,092kWh ・ガソリン使用量実績 2014 年比 1%減 733L ・二酸化炭素排出量実績 2014 年実績より 1.7%減 9,489.2kg-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設定の効率化及び温度設定の徹底(夏 28℃/冬 21℃) ・昼休み(12:00~13:00)事務所内消灯の徹底 ・クールビズの早期開始・終了延長(5/16~10/15) ・週休 2 日制導入 ・効率の良いルートでの外出・関与先訪問の徹底 ・自動集金率向上により訪問集金が減少(全体の 8 割) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の外気温が例年より高く空調使用量が減少し、全体の電気使用量減少につながったが、繁忙期(2.3 月)は電灯使用量増 ・効率の良いルートでの関与先訪問エコ運転への意識向上が定着している ・節電の意識は継続するものの、やはり外気温の影響が大きい 近年の暖冬傾向に依り空調使用量減少により、二酸化炭素排出量も減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの推進・延長 ・屋内・屋外の気温測定 ・空調温度の管理の再徹底(夏 28℃/冬 21℃) ・業務効率化をはかり使用量削減を目指す ・6 月~12 月は月 1 回のノ残業デーを実施 ・効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛ける ・再認識したエコ運転を実践していく
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物量 2014 年比 1%減 リサイクル 317.0kg 処分 148.0kg 合計 465kg ・紙使用量 2014 年比 1%減 324kg ・水使用量 2014 年実績 91 m³ 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物量実績 2014 年比 9.3%増 リサイクル 352.0kg 処分 161.0kg 合計 513.0kg ・紙使用量実績 2014 年比 22%増 399.0kg ・水使用量 2014 年比 1%増 92 m³ 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ買取業者を利用しこれにより資源ゴミ分別の徹底 ・粉茶を使用し生ゴミを減少 ・電子申告強化・メール等ペーパーレス業務の徹底の呼掛け ・両面コピーや裏紙使用の徹底 ・不要なプリントアウトを自粛 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・税制改正により、仕事の依頼内容に変化が生じ、業務も増加傾向にあることから、紙使用量も増加、合わせて廃棄物も増 ・電子申告・メール等ペーパーレスを呼びかけるも、機密的な資料が多く、また保存・コピーすることが多いため、減少は困難であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な紙類は、シュレッダーを利用して古紙として分別資源ゴミへ ・不要な DM などの返却・拒否 ・生ゴミ削減のため粉茶を使用 ・ペーパーレス業務の推進 ・裏紙使用・両面コピー再徹底 ・使用量調査の回覧再徹底 ・多忙な時期でも、一人一人が意識することで、減少へつながる
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにてエコアクションの情報を発信 ・外部講師を招き環境について勉強会を開催し内容を発信 ・グリーン商品購入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も増え、発信当初のテーマに戻り個人々の目線で、環境を肌で感じる内容で発信できた ・実務が多忙で実現が困難であった。 ・グリーン商品購入金額の割合 月平均 56% 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日常的に実践している小さな環境活動を紹介 ・実施できず ・廃棄するだけの使用済みカートリッジの回収のため送付 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も顔ぶれも変わり、当初のテーマを掲げることで、初心に戻って活動していきたいと思い決定 ・年間を通じ、実務が多忙傾向にあり実現は困難であった ・購入先業者による使用済みカートリッジ回収サービスを利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく ・全員参加を目標とする ・今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい

平成 24 年度中部電力の実排出係数 0.516 kg-CO₂/kWh を適用 (平成 25 年 12 月 19 日 環境省公表)